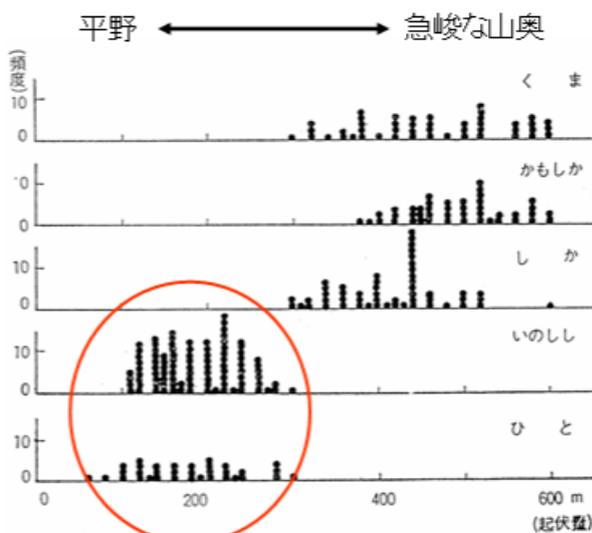


地域ぐるみのイノシシ対策（大規模防護柵整備等）研修会

中央農業総合研究センター 仲谷淳

<イノシシとはどんな生き物か>

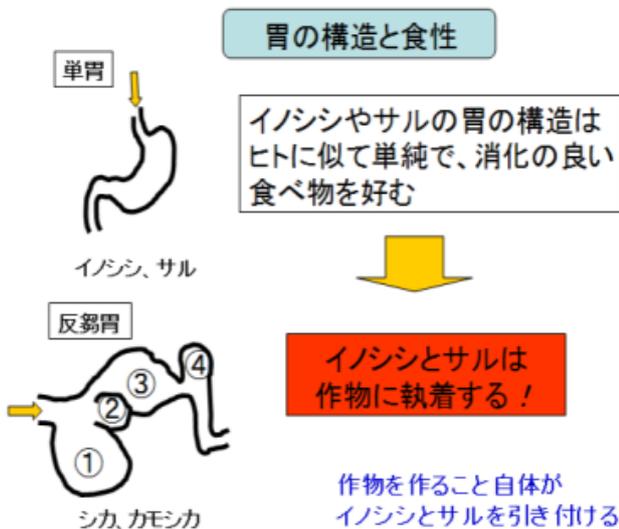
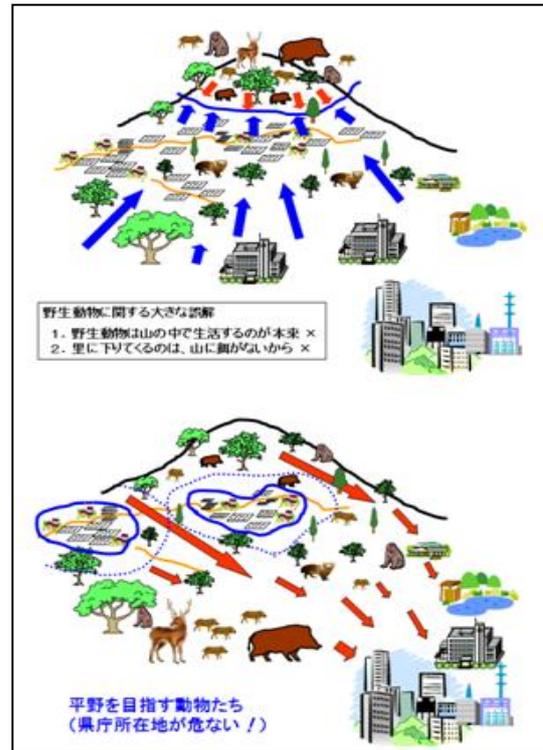
- ・平地に戻るイノシシ
- ・作物栽培が動物を引き寄せ
- ・生き物は柔軟性をもつ



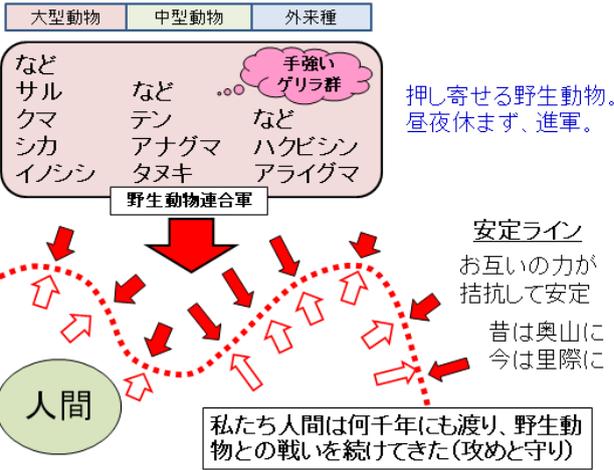
第15図 野生大形哺乳類の起伏量によるすみわけ

イノシシは平地の生き物>>人と共通する生息地

千葉徳爾



中国新聞（山本誉）



- 考えることはたくさんあるが、鳥獣害対策は簡単？
やるべきことは限られているし、やれることも限られてくる。
少し考えれば分かることが意外と多い。
- 鳥獣害対策チームをサッカーチームにたとえると、何が重要か？ 囲碁や将棋のゲームではどうか。今の一手とその次の一手。

どんな柵を選ぶか

- 単独型か複合型か？
- なぜ色々なタイプの柵があるのか？

【柵の設計例】

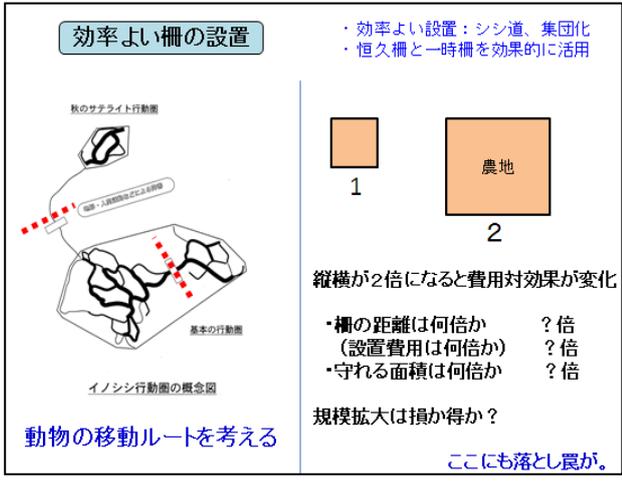
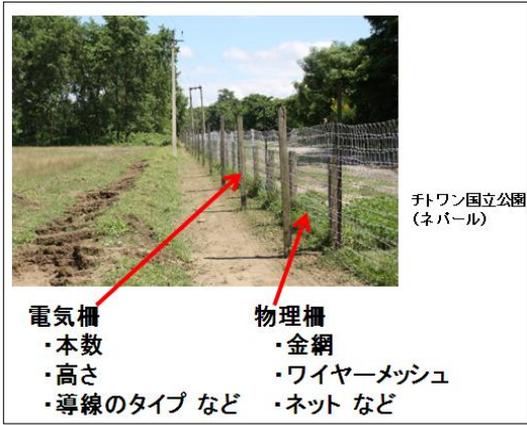
「柵」タイプ

「柵」タイプ

鳥取県「シシ垣君」
<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69873>

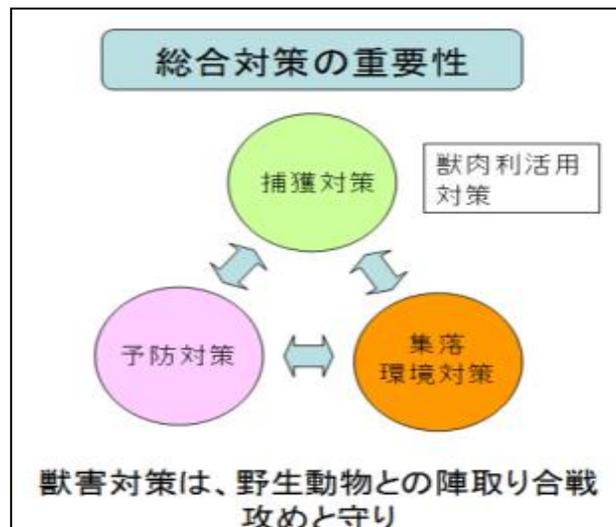
大阪府「有吉動物侵入防護柵の設置・管理マニュアル」

いろいろな電気柵の張り方

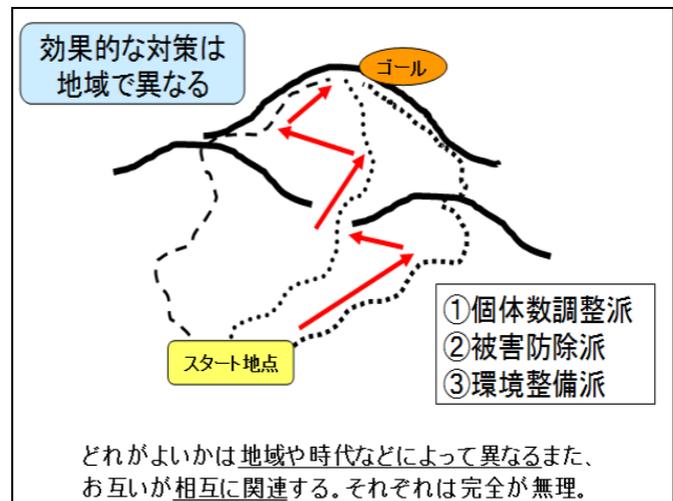
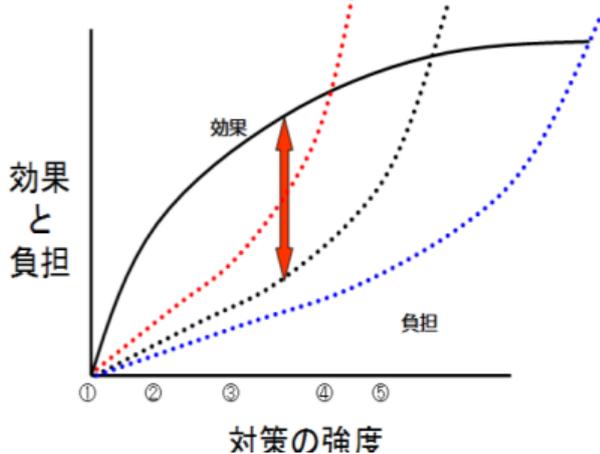


< 獣害対策のポイント >

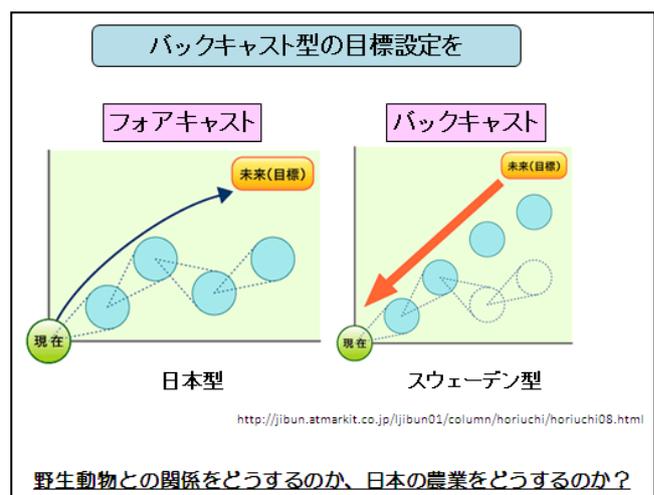
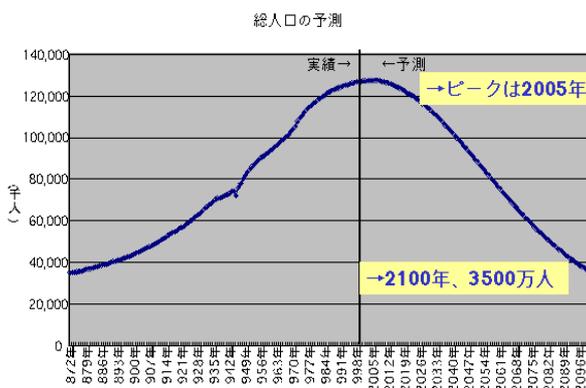
- ・ 対策は相互に結びつく
 - ・ 欠くことのできない役割分担と評価
 - ・ 対策はどこまでやればよいか？
 - ・ 効果的な対策は地域で異なる
 - ・ 人口問題
 - ・ 地域の幸せを考えた鳥獣害対策へ
 - ・ バックキャスト
- ・ イノシシ等の獣肉の利活用は、今のところ、成功例はない？ 有望であれば、日本ハムが黙って見ていない？



どんな対策も、最適な努力量は、地域で異なる



総人口の予測結果



とりあえずうまく行ったときの対策（兜の緒を締める）：5年後は？ さらに10年後はどうなっているだろう？ 今は良くて、この対策がいつまでもつだろう？ 西日本（佐賀県や島根県など）はどうなっているだろう？

ちなみに、失敗の原因は3つに分かれる。